



ごあいさつ

愛知北農業協同組合

代表理事組合長 安達 秀正

組合員をはじめ、地域利用者の皆様には、平素より農協事業に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

JA愛知北は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を深めていただくために、主な事業内容や組織概要、経営の内容などについて、わかりやすくまとめた「ディスクロージャー誌2017」を作成いたしました。当JAの事業をさらにご利用いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

さて、当JAの自己改革といたしましては、地産地消や地域農業活性化を目的に、以下の様々な活動に取り組みました。

販売面では、地元農家が生産した安全・安心な新鮮野菜を販売するためのインショップ事業強化のため、取扱店舗の拡大に向け取り組みました。産直センターでは、販売力強化を図るため産直店舗間での品揃えの調整及び県内農産物等の流通による品揃えの充実に努め、新鮮で安全な地元農産物の提供に努めました。学校給食においては、食材の必要量を把握し計画的生産による地元農産物の取扱拡大に取り組んでまいりました。更に、白米の販売数量の拡大と、玄米等の予約販売の強化に努めました。

地元で生産された農作物の加工品の取り組みについては、ペットボルの麦茶・パック麦茶及び酒米「夢吟香」を使用した日本酒の販売量の拡大に加え、犬山市の桃や大口町の苺を使用した加工品を各店舗にて販売をいたしました。

地産地消の取り組みについては、女性部のご協力のもと地元の農産物をテーマにした「料理教室」を開催したほか、昨年度初めて管内の農産物を使っての地産地消料理コンテストを開催し、優秀作品のレシピをJA愛知北のホームページに掲載することにより、地元農産物とその料理法を多くの方に知っていただきました。

また、肥料・農薬・資材等の価格についても近隣量販店以下の価格設定に取り組み価格の低減に努めました。

こうした活動により、各事業実績は概ね計画どおりの成果を残すことができました。これも偏に組合員をはじめ地域利用者の皆様のお力添えの賜と、深く感謝申し上げます。

今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、組合員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成29年7月